

TOPICS①

常陸大宮駅西交流拠点整備イメージを公開

常陸大宮駅西交流拠点の設計業者として、プロポーザル方式により株式会社JR東日本建築設計を選定しました。令和7年度の完成に向けて設計・整備を進めます。

■デザインコンセプト

the center stage

センターステージ

大人も子供も主体的に楽しみ方を見つけられる。常陸大宮のインクルーシブ・パークは誰もが主役になれる場所。そんな街のハブであり、市民一人一人にフォーカスする場でありたいという願いが込められています。



にぎわいの創出

インクルーシブ・パーク

防災機能の充実

3つの整備コンセプトを実現するための4つの軸

1 多様なアクティビティ

子供が楽しく遊べる環境はもちろん、大人も楽しい遊び場をたくさん作ります。

2 選べる居場所

芝生広場、園路の途中に点在する休憩場所、カフェスペースなど、誰もが過ごしたくなるような居場所を作ります。

3 安心できる環境

中央に配置された芝生広場は、周囲に見守られながら子供たちが安心して遊べる場所となり、災害時には避難場所になります。

4 大小のサーキュレーション

人の流れは交流施設内に留まらず、交通広場から駅へ、そして町全体へとつながって賑わいを創出します。



▲遊具広場には、性別・年齢・言語や能力に関わらず遊ぶことができるインクルーシブ遊具を設置します。



▲親水施設としてドライ噴水(地面から直接水が出る噴水)を設け、小さな子供でも安心して水遊びができるようにしていきます。



▲夜間も照明で暖かく照らし、人の存在や賑わいを感じ、安心して利用できる場所を目指します。

スマートフォン向けに、交流拠点の360°イメージを公開中しています。下の二次元コードからアクセスしてご覧ください。



※ 画像はイメージです。色・デザインなどについては、実際の建物と異なる場合があります。

TOPICS②

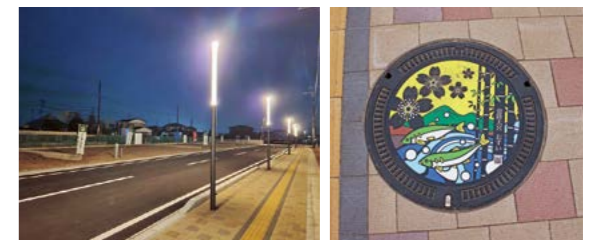
市道11219・11220号が開通

3月31日、駅の東側に位置する市道11219・11220号が開通しました。この道路は、官民連携によるまちづくりとして、株式会社ノーブルホームと協定を締結し、宅地分譲開発と併せて整備を進め、「歩きたくなる道路」を目指し、様々な工夫を行いました。

街灯は、JR常陸大宮駅の新駅舎イメージにもなっている「西塩子の回り舞台」に関連し、「竹」をイメージしたものを設置しました。街灯の下に光が届くような工夫も施され、夜には優しく道を照らします。

また、歩道には、市の魚である鮎や、市の木である桜などのイラストが描かれた3種類のデザインマンホールを設置しています。

今後も、魅力ある駅周辺のまちづくりを進めてまいります。



■ 問い合わせ 駅周辺整備推進課 電話：52-1111(内線258) mail：ekiseibi@city.hitachiomiya.lg.jp